

授業科目 教育心理学 I

【担当教員名】 遠山 孝司		対象学年	2	対象学科	健康・スポ・看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 児童・生徒の発達面、学習面、社会面、進路面における諸問題に対する心理教育的支援サービスを効果的に行うための基本的知識と態度の習得を目的とする。 (あわせて、障害児に関する心理学的理解を深めるとともに、障害児の発達を支援するために必要な知識を身につける。)					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 児童生徒がもつ対人認知や対人関係に関連する心理学的理論を理解し、対人的な問題を幅広い視点で捉えることができるようになる 2. 心理学における「学習」の理論を理解し、「勉強」ではない学習のための指導教育が考えられるようになる (3. 発達に関する理論、発達障害(障)の諸様相を理解し、児童生徒の発達に応じた指導教育が考えられるようになる)					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	教育心理学とは			1	講義と小レポート
2	対人関係の心理学(対人認知)			1	講義と小レポート
3	対人関係の心理学(1対1の対人関係)			1	講義と小レポート
4	対人関係の心理学(集団、組織の心理)			1	講義と小レポート
5	学習の心理学(様々な学習理論)			2	講義と小レポート
6	学習の心理学(学習に影響する要因)			2	講義と小レポート
7	記憶の心理学(記憶とは)			2	講義と小レポート
8	記憶の心理学(記憶の諸理論)			2	講義と小レポート
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書		なし			
その他の資料		資料は適宜配布する			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席、小レポート、試験により総合的に評価する。		履修上の留意点は初回授業時に周知するので必ず参加すること。 講義内容を覚えることなく、講義内容を基に自分自身や自分の身の回りの人間、自分の過去や将来像、人間観などに当てはめて深く考えること、自分が考えた内容を表現できるようになることを求める。 なお、教員養成にあたって必要とされる内容が教育心理学 II に含まれるので、教育心理学 II を自由科目として履修することを強く推奨する。			